

広報あのかわ

わたくしたちの町

人口(男).....4,713人
(女).....5,010人
合計.....9,723人
9月中の転入 27人
転出 25人
世帯数.....2,214人
(9月末日住登録人口調)

町の誕生から二十年
躍進する合川町



合川町民歌

亀谷健樹 作詞
木内 博 作曲

ふちのふちの 山ふところにて
いだかれた わがふるさとよ
杉の穂は 天をめざして
四季の花 色あざやかに
合川の合川の 町はうるわし
阿仁川の 流れはうたい
とびはねる 若鮎のむれ
あかあかと 方灯火うつして
畑園をうるおしやまぬ
合川の合川の 町はきよらか
しあわせと 未来をひらく
ひとの輪の ひろがるどころ
大野台 吹雪ふくとも
雪をふみ 春よふちから
合川の合川の 町はすてやか

合川町20周年記念式典

合川町が誕生して、ここに二十周年を迎えました。
数多くの苦難を乗り越えて進められた町づくり二十年の歩みを顧みるとともに、合川町民の融和と協調の伝統を生かして、さらに新しい町づくり、豊かで住みよいそして明るい郷土の伸展を期して、ここに合川町二十周年記念の式典と行事が十一月二日、合川中学校体育館で行なわれます。

記念式典

町政功労者を表彰

昭和三十年三月三十一日
上大野村、下大野村、落合村及び下小阿仁村の四カ村が合併して誕生以来二十九年、この間町民のみならず、はじめとして多くの関係者のたゆまない努力のもとに進められてまいりました。
ここに町を築いてこれら多くの先輩諸氏、その発展に向けて一体となって支援された町民のみならず、そしてその伝統と歴史を受け継ぐべく青年少が一同に出席して盛大に挙行されました。

- 木村 恒三 57 李 岱
◇一般功労者
工藤 サト 100 上 杉
藤田文五郎 74 八幡岱
桜田治恵門 72 李 岱
二階堂善三 71 鷹巣町
関 源吉 68 上 杉
吉田千代勝 68 増 沢
金田 英知 63 摩 当
木村 修司 60 李 岱
畠山 俊夫 55 木戸石

町民のみさんの多数参加と善意を

この二十周年記念式典は町民のみさんにも広く参加していただき共に喜びと励ましを頂くことが基本でありますので、おさそいあわせのうえ、多数ご参加ください。

- 選の金田浩子さん(合中三年、摩当)の二人がそれぞれの入選作文を紹介して朗読することになっております。
そして最後に九月制定された合川町民歌の披露と作詞、作曲者の紹介、感謝状の贈呈が行なわれ、記念式典を終るようになっております。
◇自治功労者
庄司 博 64 李 岱
米倉 甚逸 57 上 杉
畠山宇三郎 61 木戸石
金田悦財門 53 西根田
高橋仁一郎 51 八幡岱

記念行事

愛の運動を高める
チャリティーショー

町ではご承知のとおり、社会福祉を町是として町づくりを進め、数多くの施策を推進してまいりました。特に大野台に愛生園をはじめとして、ひばりヶ丘ホール、厚生園、みさか寮などの援護、救護更生施設をつくり心身障害者のための楽園づくりが着実に進められております。

記念誌発行

「合川町の二十年」を全戸に配布

町の誕生から二十年の歩みを記述や資料、写真によつて綴り、町の沿革と推移を理解し、今後の方向を探ることをねらいとして発行されました。
主な内容は、旧村の沿革町村合併の動き、町のあゆみ、町史年表と町勢資料、人名、記念論文(作文)、となつております。
この記念誌は町内の全戸に配布することとしております。

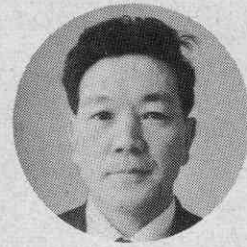
# 町民歌 九月定例町議会で 町民歌条例を可決

## 「合川のうた」レコードもつくる

ながい間のぞまれていた「町民歌」が、合川町二十周年を記念し、九月の定例



亀谷健樹氏

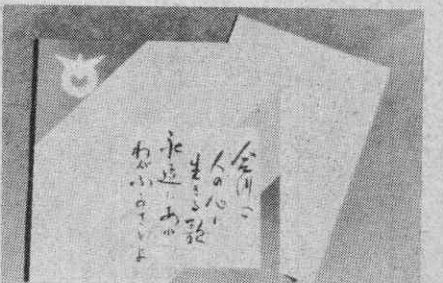


木内博氏

町議会において、「町民歌

で決定した町民歌でありま

すから町や学校などの儀式や行事などではもちろん、部落や諸団体の集会などでも、町民として声高らかに愛唱し「ふるさと合川」の町づくりと心のささえにしたいものです。



声四部合唱ですが、ふだんは斉唱にして、おわりの「合川の合川」で、追いかけての二部合唱となり、はればれと歌いたいものです。

「町民歌」制定と共に、各小学校創立百周年記念ともあわせ、町民歌・各小学校・合川中・合川高校の校歌に合川音頭、それに町民歌と音頭の伴奏だけの二曲を加えた十曲を「合川のうた」として、全国的にもめ

永遠にあれ  
わがふるさとよ  
が、町章と共に表され、裏にはそれぞれの歌詩が書かれています。

### 合川町二十周年記念作文 入選者氏名

- 齊藤 薫 合高二年
- 〇二十才代
- 「私も町民」
- 吉田道江 川井
- 〇三十代
- 「児童館」
- 米倉カツ子 上杉
- 〇四十代
- 「町とわたくし」
- 松橋三郎 駅前
- 〇五十代
- 「わが町「合川」」
- 松岡一雄 羽根山
- 〇六十代
- 「合川町制二十周年によせて」
- 向井正隆 弥栄
- 〇七十代
- 「私の念願」
- 三浦小八 三木田

# 「合川町二十周年記念にあたって」

合川町長 畠山義郎



わが合川町は昭和三十年三月三十一日当時の上大野村、下大野村、落合村および下小阿仁村の四カ村を合併して面積一一二平方軒、人口一万二千六百人をもって発足したのであります。顧みるに終戦後の混乱から立ち直りの基調となった日本の民主主義体制が、あたらしい地方自治法の施行をみるごとく地方行政の改革もようやく緒についた時にあたって、さらに地方自治体の行政水準を高めるためには、町村合併によ

日に至ったのであります。私はここで、当時の合併協議会の会長をつとめ、合川町誕生をまとめ、さらに初代町議会議長となられて新町の基礎づくりに献身された故松橋由先生が口ぐせのように、合川町の平和を旨とする「合川主義」「合川精神」の町民運動を提唱され、自らが実践の先駆者となつて町民の心を振るいおこしてこられたことを回顧し、今更のように先生の愛町精神の偉大さに心をうたれるのであります。

合川町は米作農業のほかに見るべき産業の基盤もなく、したがって町の財源も浅く、立町当時におきましては財政秩序が乱れ、財政再建団体の適用を受けたのであります。新市町村建設促進法に基づく国有林の払下げを営林局署のおはかりによつて認可されるところとなり、これによつて町財政の健全性が回復されさらには計画的な造林による基本財産を造成することによつて将来にわたる財政基盤を整えることの出来得ましたのも幸いであつたと思つてあります。

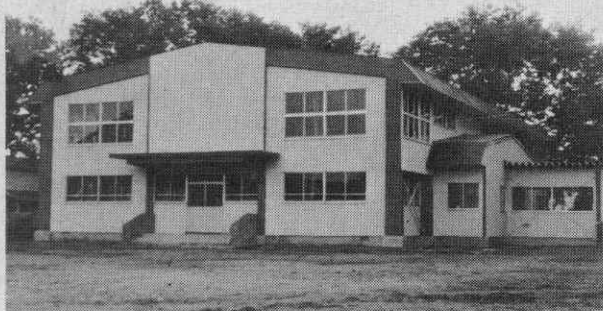
全体がお互いに助け合つて生活しなければならぬといふもので、そのためには町民生活をとりまく産業、経済、教育、文化等の万般がすべて社会福祉の理想に一元化されるものであることを確認したものであります。町民ひとりひとりの幸せを、つづけてまいりました。世相何かとせわしい中において、ともすれば失われがちな「たすけあいの絆」を確かめ合つて来た町民の心を、私も真に大きな誇りと思つてあります。と共におの善意と奉仕の篤行を、ことあるごとに具現して来た町民運動は、決して町村自治の根幹として誤るものではないと確信しております。

新町建設構想の理念は、先づもつて一日も早く旧町村意識を払拭し、全町一体感を確立することが先決であることとされたのであります。そのためには町内各団体機関の統合を促進しながら、交通、通信体系を整備することが急務であるとの方針がとられ、町の中心部を結ぶ動脈路線（現在は県道に編入）町道中央線の新設、相次ぐ災害によつて寸断さ

わが合川町は去る昭和四十一年九月「社会福祉の町」を内外に宣言いたしました。その本旨とするところは、すべての町民が健康で明るい生活を営むためには町民

この意義深い記念式典にあわせて、社団法人あゆみの箱本部の好意ある制作によつて「伴せのチャリティショー」を主催したのもこのような所因にもとづくも

# 町づくり散歩



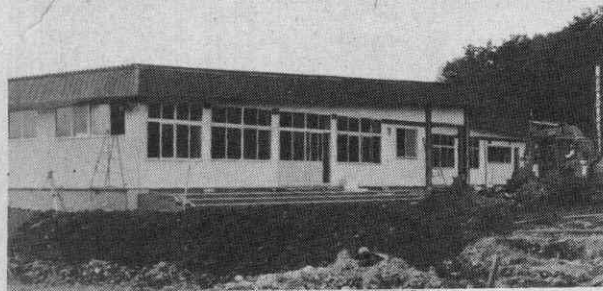
東小学校屋内体育館完成、百周年の喜びもひとしお



こどもの殿堂「ちびっこハウス」が完成



健康広場も整備、モダンな上杉児童館



11月10日、めでたく竣工を迎える町立東保育園



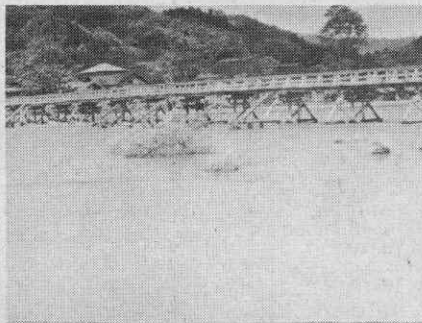
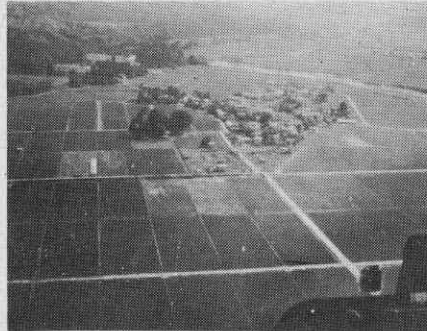
今年も3戸を新築、充実される教員住宅(駅前)



ナイター球場の完成で深夜まで響く球音……。

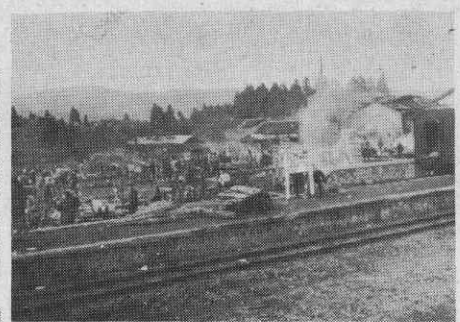


近代農業をめざして全町ほ場整備、全国にさがかけて通年施工方式を採用し注目された。(旧三里、新西根田付近)



阿仁、小阿仁の川が流れる本町は数多くの橋で結ばれている。このため多額の町費で橋の建設が進められてきた。(木橋時の新田目橋と今年完成した木戸石大芦沢橋)

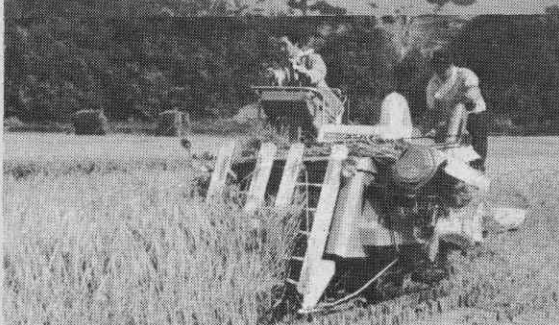
大内沢部落が集団移転、今は三里五輪平で新しい部落づくりが行なわれている。



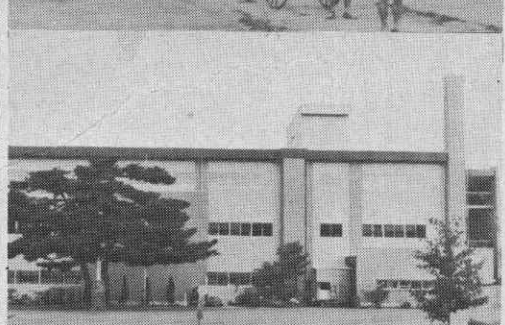
新町最初の試練となった昭和30年9月の駅前大火、これを機会に都市計画が進められ、今では町の中心地として年々発展している。



町内各四小学校の永久校舎改築が完了し、近代的な校舎となった。(大正六年の木戸石尋常高等小学校と現在の北小学校)



人馬一体の農作業も遠い思い出となり、機械化による近代農業時代の到来です。(下小阿仁地区)



## 愛の運動を高めるための チャリティーショー

第一部 チャリティーオークションセール  
(めずらしい品物がいっぱい、どんどんお買い上げください)  
第二部 バラエティーショー(歌と奇術と漫談で楽しいひとときを)

—みんなで築いた20年、そろって参加しましょう—

## 合川町20周年記念式典

日時 11月2日(日)午後2時  
場所 合川中学校体育館

※一般参会者の入場は正午に開始、1時30分で入場締切りです

# 秋期大掃除を実施

## 11月6日から12日まで

ことしの秋期大掃除が次により実施されますので、明るく清潔な住みよい環境づくりのため町民のみならずのご協力をお願いいたします。

**▽テーマ**  
きれいな町づくりは町民の手で

**▽重点事項**  
下水、排水溝及び便所は掃除のうえ、消毒し清潔をはかること。特に生活排水（台所、風呂等の排水）の処理については、側溝や排水路にストレートにたれ流しをしないで、タメ枘等を設置して浄化してから流すように工夫すること。便所については、汲取口、便器にフタ窓にはアミを取付すること。

**▽日程**  
十一月六日（木）  
十一月七日（金）

道城、桃栄、上杉、下杉、梅栄、弥栄、金沢  
十一月七日（金）  
駅前、川井、新田目、福田  
十一月十日（月）  
李岱、羽根山、羽立、杉山田、雪田  
十一月十一日（火）  
鎌沢、三木田、摩当、三里、大内沢、芹沢、十一月十二日（水）  
東根田、西根田、八幡岱、木戸石、増沢、美栄。

### 郵便 創業百年記念 貯金

### 長寿と米寿を祝い

### 記念品を送る

郵便省は明治八年五月二日、わが国に郵便貯金制度を創設して今年で満百年を迎え、これを記念して郵便貯金月間を定めて、全国一せいに貯蓄思想の普及と貯金の社会的使命をPRしてまいります。東北郵政局ではこの期間にあわせて

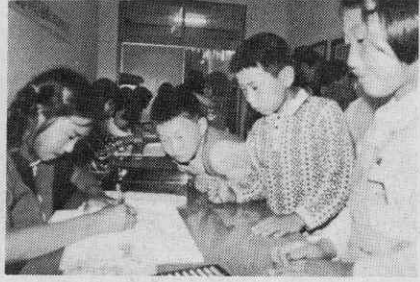
郵便貯金創業百年記念の各種行事を実施して、これまでご愛顧いただいていたお客様への感謝のしるしとして、後ともご利用を願うこととし、この度東北六県在住の郵便貯金創設の年、即ち明治八年に誕生された方十九名に対して長寿をお祝いし、

### 「おめでとう」

### 優良「こども銀行」で表彰

#### 南小子供信用協同組合

大蔵省と日本銀行が「こども銀行」の活動の健全な発展と普及を図り広く児童生徒に貯蓄の意義を理解させ、その習慣を身につけさせることを目的として優秀な成績を納めている「こども銀行」を毎年表彰しておりますが、昭和五十年度の優良「こども銀行」に南小



週一回開設される「こども銀行」の窓口には預金者が満員です。

### 「万灯火」郷土讃歌

鳥山義郎

万灯火アアアアア  
万灯火アアアアア  
万灯火アアアアア  
何千何百  
万灯火アアアアア  
万灯火アアアアア  
何千何百  
何千何百  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう

今年の稲も穂はらんできた  
今年の稲も穂はらんできた  
山アの穂も背つてきた  
山アの穂も背つてきた  
万灯火アアアアア  
万灯火アアアアア  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう  
おめでとう

### インフルエンザの予防接種

今後とも末長くお元気で過ごすことを祈念して、去る十月二十四日、東北郵政局長のあいさつ状と記念品が鳥山下大野郵便局長から工藤サトさん（上杉）に贈られました。

本年もカゼの集団発生に備えて、インフルエンザの予防接種が実施されます。カゼは「万病の元」予防管理を行ないましょう。なお日程等次のとおりです。希望される方は役場保健課まで申込みください。

- 対象者
  - (イ) 満三歳から六歳までの幼児及び保育園児、
  - (ロ) 成人一般
- 注射料
  - (イ) 幼児から中学生まで無料
  - (ロ) 成人者、一回、百円
- 注射の期日及び時間

区分	1回目	2回目	時間
東小学区	11月13日	11月21日	午後1時30分～2時30分
西小学区	11月27日	12月5日	〃
南小学区	11月20日	11月・8日	〃
北小学区	11月26日	12月4日	〃

### 所得税第二 期分の納税

十二月一日まで

十一月は、所得税第二期分の納税の月です。所得税は、第一期から第三期に分けて納めていただくことになっており、このうち、第一期分と第二期分を予定納税といひ、前年分の納税額を基にして計算した金額（予定納税基準額という）の三分の一（予定納税額とい

う）ずつを納めていただくわけです。第二期分の予定納税額は、一般の方については六月中旬に第一期分と一緒に、また、特別農業所得者については、十月中旬に税務署から通知されていますから、そのとき▽新たに障害者（六十五歳）、寡婦、勤労学生に該当することになったとき

▽結婚、出生等のため、配偶者控除や扶養控除が受けられることになったとき  
この減額申請は、十一月十五日までに税務署へ提出することになっております。なお納税には振替納税制度を利用されやすくと大変便利です。

この制度を新たに利用なさる方は、利用されている金融機関又は税務署に、振替に利用する預金の種類などを書いた「預金口座振替依頼書」と、金融機関の名称などを書いた「納付書送付依頼書」を提出して下さい。

### 秋の火災予防運動

十一月九日まで

本年も恒例の秋期全県火災予防運動が実施されますが、今回は全県いっせい実施事項の重点を「家庭における安全確認」へ百貨店、旅館、複合用途ビルなどにおける安全の確保」におきとくに出火防止と人命安全の確保を図ることにより、火災予防思想の一層の徹底を図ることにしています。

この運動は火災多発期を迎えるにあたり、県民一人一人の防火意識の向上を図ることを目的として実施期間 昭和五十年十一月九日から十五日まで

「幸せを明日につなぐ 火の始末」

- ① たばこの投げ捨てと寝たばこの防止
- ② 暖房器具などのガスもれ点検および点火、消火の確認
- ③ 老人、幼児、病人の就寝場所の安全点検
- ④ 消火用具の準備
- ⑤ 百貨店、旅館、複合用途ビルなどにおける安全の確認

### ありがとう 善意のご寄付

合川中学校一年一組（代表、伊藤昭人）から学校祭の学級売上金として一万四百円の寄付がありました。町の社会福祉協議会の活動費に繰り入れ、有効に役立たせることにいたしました。紙上を通じて厚くお礼申しあげます。  
（社会福祉法人 合川町福祉協議会）

### 慶弔だより

自十月十一日 至十月二十三日

おめでとうご健康をお祈りいたします。

伊島昌子・隆三女(李岱)  
福岡由美子・信治長女(三里)、伊藤一史・金作長男(杉山田)、佐藤良・征太郎二男(木戸石)、伊藤伊久子・耕作長女(木戸石) 齊藤智也・孝悦長男(新田目)、工藤久美子・久夫長女(長野)、成田孔明・修一長男(駅前)、豊村由里子・清長女(美栄)

●謹んでごめいふくをお祈り申し上げます。  
成田長吉・本人(李岱)